

平成20年岩手・宮城内陸地震から1年

～公共土木施設の災害復旧工事が着々と進んでいます～

砂防災害課

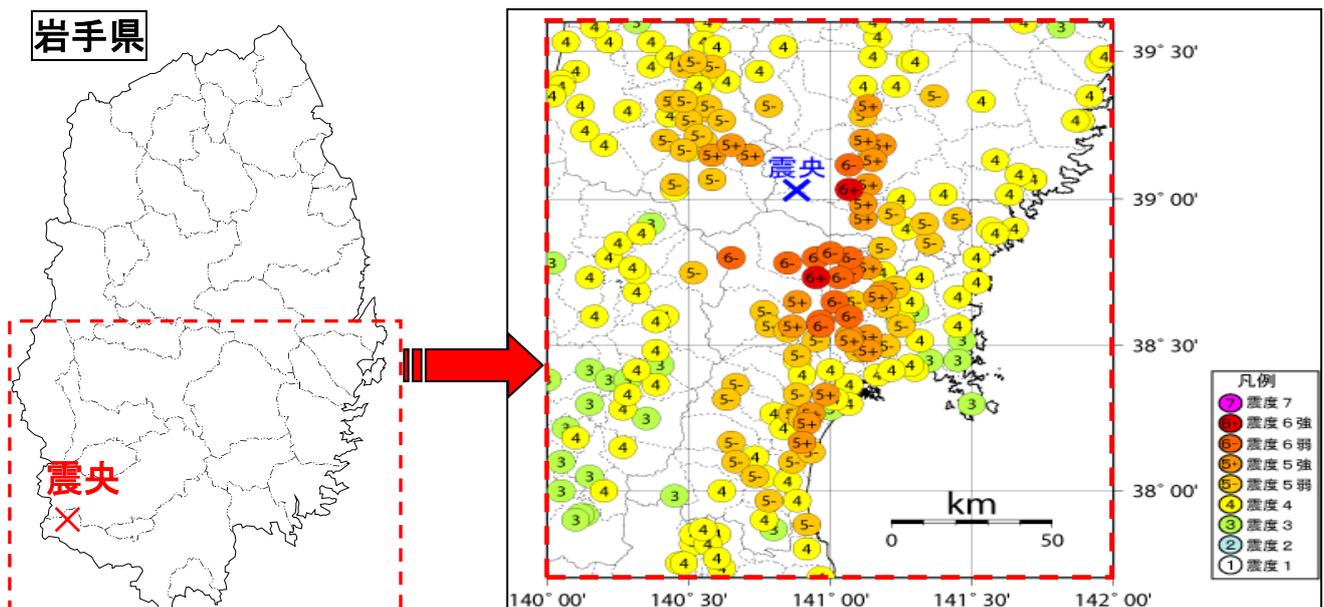
平成20年6月14日に発生した平成20年岩手・宮城内陸地震から1年が経過しました。この地震では、岩手県内において観測史上最大の震度を記録し、県内で2名が死亡、37名が重軽傷を負ったほか、国道342号の祭時大橋の落橋や大規模崩落など317箇所、約78億円もの土木施設被害が発生しました。

県土整備部では、平成21年度の業務運営方針として「H20地震災害からの早期復旧」を緊急課題に設定し、災害復旧工事などに重点的に取り組んでいくこととしており、県土整備ニュースでも公共土木施設の復旧状況などを情報発信していきます。

今月号では、岩手・宮城内陸地震の概要をふり返るとともに、現在の道路・橋梁等の公共土木施設の復旧状況などについてお知らせします。

1 平成20年岩手・宮城内陸地震の概要

平成20年6月14日午前8時43分頃、岩手県内陸南部を震源とするマグニチュード7.2の地震が発生し、岩手県奥州市と宮城県栗原市で震度6強、宮城県大崎市で震度6弱を観測しました。



震度分布図 (気象庁HP)

この地震により、本県では2名の尊い命が奪われたほか、多数の住宅被害が発生し、多くの人々が避難生活を余儀なくされました。

岩手県の一般被害の状況

市町村名	人的被害(人)		住宅被害(棟)		
	死者	負傷者	全壊	半壊	一部損壊
一関市	1	2	1	2	266
奥州市	1	32	1	2	453
北上市					2
花巻市		1			3
藤沢町		1			
平泉町		1			8
金ヶ崎町					25
西和賀町					6
合計	2	37	2	4	763

(岩手県総合防災室発表)

2 各地の被害状況と現在の復旧状況

県内の公共土木施設については、震源地近隣の一関市、奥州市を中心に、大規模な被災を受けました。国道342号の祭時大橋の落橋、大規模崩落による全面通行止めなど、県、市町村の総被害箇所317箇所、約78億円もの甚大な被害が発生しました。

岩手・宮城内陸地震 査定決定状況 (県土整備部所管公共土木施設分)

区分	河川		道路		橋梁		砂防設備		地すべり防止施設		下水道		合計	
	箇所	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
県	10	139,141	113	3,910,428	15	1,814,258	4	110,257	1	24,797	1	45,451	144	6,044,332
市町村	14	188,947	146	981,406	11	521,343					2	15,403	173	1,707,099
合計	24	328,088	259	4,891,834	26	2,335,601	4	110,257	1	24,797	3	60,854	317	7,751,431

まつるべ
一般国道342号 祭時大橋



落橋した祭時大橋は、当面の通行確保のため、仮橋設置の応急工事を昨年11月末に完了しています。
現在、落橋箇所の上流約150mの箇所では、新橋の設置工事に着手しています。



一般国道 342 号 ^{やびつ} 矢櫃地内

国道 342 号一関市矢櫃地内では、大規模な法面崩壊が発生し、現在、不安定土砂の撤去作業を行っています。



一般国道 342 号 ^{すかわ しんゆ} 須川～真湯

国道 342 号須川～真湯までの約 15km の区間は、4 箇所で大規模な崩落が発生するなど、現在も全面通行止めが続いています。
平成 22 年秋の通行止め解除を目指し、鋭意災害復旧工事を進めています。



うまどめおおはしかみ
一般国道 397号 馬留大橋上地内



おおぶくろ
主要地方道衣川水沢線 大袋地内



しもしあわせ
主要地方道 花巻衣川線 下鹿合地内



平成 21 年 5 月末で、被害箇所 317 箇所のうち、187 箇所（59%）の復旧が完了しており、その他の被災箇所についても、鋭意復旧工事を進めています。

復旧工事に当たっては、交通規制など道路利用者の方々にはご不便をおかけする場合もあるかと思いますが、早期復旧に取り組んで参りますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

岩手・宮城内陸地震関連の通行止めなどの情報は、こちらから確認できます。
⇒ <http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=2500&of=1&ik=1&pnp=2500&cd=12192>

3 震災発生から1年、各地でフォーラムの開催や防災訓練等を実施しています

①市民防災フォーラムの開催

平成21年6月14日、一関市役所・岩手県・国土交通省岩手河川国道事務所の主催により、一関文化センターで市民防災フォーラムを開催しました。甚大な被害をもたらした今回の地震災害から何を教訓として学ぶか、岩手大学齋藤副学長の基調講演やパネルディスカッション、記録映像の上映などを実施しました。



岩手大学 齋藤徳美副学長の基調講演



パネルディスカッションの様子

市民防災フォーラムプログラム

□岩手・宮城内陸地震 記録映像上映

□基調講演 「岩手・宮城内陸地震から何を学ぶか」 齋藤徳美 岩手大学副学長

□パネルディスカッション

「岩手・宮城内陸地震を振り返る～自助・共助・公助のあり方について～」

コーディネーター 齋藤 徳美 岩手大学副学長

パネリスト

佐藤 勝雄 前一関市巖美18区区長

箱石 勝守 一関市消防団一関第4分団第2部長

宿輪 智浩 IBC岩手放送報道部主事

坂本 紀夫 一関市副市長

青木 俊明 県南広域振興局一関総合支局長

山本 聡 岩手河川国道事務所長

②防災訓練の実施

奥州市役所では、同日に防災訓練を実施しました。胆沢区西部の県境を震源とする大規模地震を想定し、職員間の情報伝達や災害対策本部設置運用、自主防災組織・現地対策本部との連携による住民安否確認などの訓練を実施し、震災発生直後の迅速な対応と的確な手順を改めて確認しました。



防災訓練の様子

防災訓練設定内容

- ・胆沢区西部と衣川区北西部で震度6強、その他の市内全域で震度6弱
- ・震源地を中心に県道、市道が土砂崩れ、崩壊で通行止め
- ・家屋被害が全壊25棟、半壊60棟、一部損壊850棟
- ・衣川区の北股地区では土石流によりダムが崩壊する危険

③岩手・宮城内陸地震災害復旧技術研修会の開催

県南広域振興局では、平成21年6月18日に行政機関、建設業者、設計コンサルタント等を対象とした岩手・宮城内陸地震災害復旧技術研修会を開催しました。

この研修会では、復旧の取組み内容を広く周知するとともに、甚大な被害が発生した地震災害からの復旧への取組みを今後の技術力の向上に役立てることを目的として、地震災害の復旧に力を注いだ各分野の専門家、国土交通省、林野庁などから講演をいただきました。

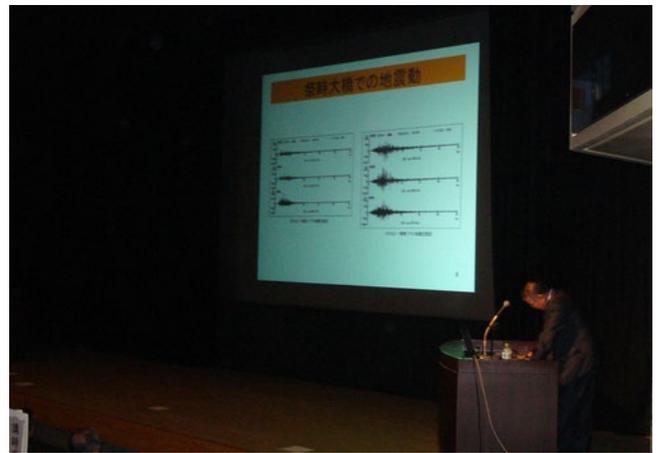
今後とも、研修会を継続して行う予定です。



勝部県南広域振興局長あいさつ



研修会の様子



岩手大学工学部 岩崎教授の講演

研修会プログラム

□あいさつ

岩手県南広域振興局長 勝部 修

□TEC-FORCE の取組み及び復旧活動への支援について

東北地方整備局企画部防災課長 熊谷 順子

□祭時大橋の被災メカニズムについて -祭時大橋被災状況調査検討委員会報告-

岩手大学工学部教授 岩崎 正二

□岩手・宮城内陸地震に係る土砂災害の調査結果について

岩手大学農学部准教授 井良沢 道也

□市野々原河道閉塞（天然ダム）への緊急対応について

東北地方整備局岩手河川国道事務所 副所長 稲葉 護

□国道342号真湯～秋田県境までの復旧について

岩手県県土整備部道路建設課整備担当課長 伊藤 正美

岩手県南広域振興局一関総合支局土木部災害復旧対策課長 小関 司

□岩手・宮城内陸地震で行った岩手南部森林管理署の対応について

東北森林管理局岩手南部森林管理署次長 小原 和正

□避難勧告の早期解除に向けた取組みについて

岩手県南広域振興局農林部林務室保全治山総括主査 小成 晴紀

岩手県南広域振興局一関総合支局農林部林務課主任 梅村 昭栄